

## 神代ケヤキ

武蔵御嶽神社へ向かう参道の途中に鎮座するケヤキは、樹齢 1,000 年にも達すると考えられています。高さ約 30 メートル、幹囲は 8 メートルを超えるこの木は、日本最大級のケヤキです。幹には、四手付きのしめ縄が巻かれており、この木には神道の神様が宿っていることを示しています。

1 世紀頃に、景行（けいこう）第 12 代天皇の息子・日本武尊が植えたと伝えられています。戦争や天災をも生き延び、樹齢何百年にもなる木は、回復力の象徴や過去との生きたつながりとして崇められています。ケヤキは、その耐久性や柔軟性、綺麗な木目から、職人の間で高く評価されています。そのため、伝統家具だけでなく、神社仏閣の建設にも使用されます。